



2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年1月23日

上場会社名 大丸エナウイン株式会社

上場取引所 東

コード番号 9818

URL <http://www.gas-daimaru.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 古野 晃

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理統轄

(氏名) 青木 尚史

TEL 06-6685-5106

四半期報告書提出予定日 2020年2月12日

配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	13,036	4.8	469	27.2	552	29.9	420	50.8
2019年3月期第3四半期	12,442	7.9	369	7.0	425	8.4	278	146.3

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 646百万円(174.0%) 2019年3月期第3四半期 236百万円(70.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	55.18	—
2019年3月期第3四半期	36.59	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	18,602	11,780	63.3
2019年3月期	15,218	11,263	74.0

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 11,780百万円 2019年3月期 11,263百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	8.50	—	8.50	17.00
2020年3月期	—	8.50	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	9.50	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	17,500	1.5	900	8.7	950	5.1	600	0.4	78.74

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期3Q	8,046,500株	2019年3月期	8,046,500株
② 期末自己株式数	2020年3月期3Q	426,765株	2019年3月期	426,235株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期3Q	7,620,138株	2019年3月期3Q	7,620,265株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の実績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による経済・財政政策を背景に、企業収益や雇用・所得環境が改善し、緩やかな回復基調で推移しましたが、海外の政治、経済情勢の不確実性等により、景気の先行きは不透明な状況が続いております。特に中東情勢においては、イランに対する経済制裁による原油禁輸措置や米中貿易摩擦等が大きな不安定要素となり、原油価格についても不安定な動きが見られます。

このような環境のもとで、当社グループの売上高は、リビング事業においてLPガスの仕入価格に連動した販売単価の低下により減収となったものの、アクア事業における販売増加や、医療・産業ガス事業において当期より子会社となった(株)キンキ酸器の売上が加わったことにより、13,036百万円と前年同四半期と比べ593百万円(4.8%)の増収となりました。

損益面では、売上増加に伴い売上総利益は、5,227百万円と前年同四半期と比べ504百万円(10.7%)の増益となりました。営業力強化のための人件費増加や備品等の販売費増加により、販管費は前年同四半期と比べ増加したものの、営業利益は、469百万円と前年同四半期と比べ100百万円(27.2%)の増益となりました。

営業外収益及び営業外費用を加減算した経常利益は、552百万円と前年同四半期と比べ127百万円(29.9%)の増益となりました。法人税、住民税及び事業税等控除後の親会社株主に帰属する四半期純利益は、420百万円と前年同四半期と比べ141百万円(50.8%)の増益となりました。

セグメントごとの業績は、次のとおりであります。

① リビング事業

当セグメントにおきましては、LPガスの出荷量が前年同四半期と比べ増加したものの、LPガスの仕入価格に連動した販売単価が低下したことにより、売上高は、8,370百万円と前年同四半期と比べ280百万円(3.2%)の減収となりました。

② アクア事業

当セグメントにおきましては、前年下期より開始した新ブランド「スーパーバナジウム富士」の販売によりユーザー件数、販売本数ともに増加し、売上高は、972百万円と前年同四半期と比べ190百万円(24.3%)の増収となりました。

③ 医療・産業ガス事業

当セグメントにおきましては、酸素濃縮器等の在宅医療機器のレンタル、医療ガス、産業ガス及び機材・工事と各分野において販売が増加し、また、当期より子会社となった(株)キンキ酸器の売上が加わったことにより、売上高は、3,693百万円と前年同四半期と比べ684百万円(22.7%)の増収となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間の資産合計は18,602百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,384百万円の増加となりました。この主な要因は、現金及び預金の増加541百万円、土地の増加270百万円、のれんの増加1,301百万円及び顧客関連資産の増加303百万円であり、主に、サンキホールディングス(株)及び(株)キンキ酸器の企業結合を行ったことによる増加であります。

負債合計は6,822百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,867百万円の増加となりました。この主な要因は、支払手形及び買掛金の増加709百万円、1年内返済予定の長期借入金の増加496百万円及び長期借入金の増加1,378百万円であり、主に、サンキホールディングス(株)及び(株)キンキ酸器の企業結合を行ったことによる増加であります。

純資産合計は11,780百万円となり、前連結会計年度末に比べ516百万円の増加となりました。この主な要因は、利益剰余金の増加290百万円及びその他有価証券評価差額金の増加226百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想は現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は今後様々な要因により、予想数値と異なる可能性があります。なお、業績予想数値は2019年5月14日に公表しました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位 千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,312,009	4,853,077
受取手形及び売掛金	2,653,279	2,835,606
商品及び製品	392,216	433,323
その他	424,914	592,067
貸倒引当金	△ 14,653	△ 16,916
流動資産合計	7,767,767	8,697,158
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,845,747	1,940,551
機械装置及び運搬具(純額)	595,528	627,569
土地	2,204,614	2,474,853
リース資産(純額)	271,495	275,548
その他(純額)	656,678	720,397
有形固定資産合計	5,574,064	6,038,919
無形固定資産		
のれん	683,838	1,985,384
顧客関連資産	—	303,224
その他	46,128	61,951
無形固定資産合計	729,966	2,350,560
投資その他の資産		
投資有価証券	933,092	1,172,986
関係会社株式	9,400	9,400
繰延税金資産	3,859	3,015
その他	205,140	391,549
貸倒引当金	△ 5,114	△ 61,177
投資その他の資産合計	1,146,377	1,515,773
固定資産合計	7,450,408	9,905,254
資産合計	15,218,175	18,602,412

(単位 千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,388,775	3,098,264
短期借入金	—	90,000
1年内返済予定の長期借入金	—	496,756
リース債務	100,439	108,561
未払法人税等	233,167	74,558
役員賞与引当金	21,640	18,900
その他	646,690	545,877
流動負債合計	3,390,711	4,432,918
固定負債		
長期借入金	—	1,378,803
長期未払金	95,059	195,606
リース債務	192,775	191,130
繰延税金負債	53,897	275,318
役員退職慰労引当金	151,950	284,598
その他	69,901	63,701
固定負債合計	563,585	2,389,158
負債合計	3,954,297	6,822,077
純資産の部		
株主資本		
資本金	870,500	870,500
資本剰余金	1,185,972	1,185,972
利益剰余金	9,304,582	9,595,494
自己株式	△ 305,005	△ 305,745
株主資本合計	11,056,049	11,346,221
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	207,829	434,113
その他の包括利益累計額合計	207,829	434,113
純資産合計	11,263,878	11,780,335
負債純資産合計	15,218,175	18,602,412

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位 千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	12,442,930	13,036,695
売上原価	7,719,011	7,808,721
売上総利益	4,723,919	5,227,973
販売費及び一般管理費	4,354,679	4,758,434
営業利益	369,239	469,539
営業外収益		
受取利息	68	70
受取配当金	10,503	17,043
受取賃貸料	12,989	6,785
保険解約返戻金	—	25,271
その他	36,171	43,588
営業外収益合計	59,733	92,760
営業外費用		
支払利息	499	3,609
売上割引	779	840
不動産賃貸費用	782	756
リース解約損	—	2,435
その他	1,881	2,349
営業外費用合計	3,943	9,991
経常利益	425,029	552,308
特別利益		
固定資産売却益	40,794	9,542
投資有価証券売却益	—	108,646
特別利益合計	40,794	118,188
特別損失		
固定資産除売却損	1,566	1,083
投資有価証券売却損	—	36
特別損失合計	1,566	1,119
税金等調整前四半期純利益	464,257	669,377
法人税、住民税及び事業税	99,545	221,556
法人税等調整額	85,912	27,364
法人税等合計	185,457	248,921
四半期純利益	278,799	420,456
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	278,799	420,456
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△ 42,786	226,284
その他の包括利益合計	△ 42,786	226,284
四半期包括利益	236,012	646,740
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	236,012	646,740

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。